

# 平成28年 労働者死傷病報告受理件数表

平成29年3月末確定

群馬労働局

業種別	署別								群馬局計	前年同期	増減
	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条				
製造業	148	280	41	219	24	42	18	772	709	63	
食料品製造業	37	125	6	48	6	14	3	239	192	47	
鉱業			1				1	2		2	
建設業	55	70	13	42	9	15	5	209	246	-37	
木造家屋等建築工事	12	18	2	3	2		1	38	56	-18	
交通運輸・貨物取扱業	56	147	16	101	12	12	6	350	306	44	
道路貨物運送業	37	131	15	87	11	9	5	295	255	40	
林業	8	1	9			5	7	30	37	-7	
上記以外の事業	1	3 (1)	68	161	41	40	45	996	884	112	
卸売業・小売業	57	147	19	42	13	19	9	306	273	33	
通信業	20	22	6	16	1	3	2	70	50	20	
医療保健業・ 社会福祉施設	42	73	15	33	7	3	3	176	159 (1)	-1 (-1) 17	
旅館・ホテル業	5	14	2	2	5	1	10	39	33	6	
計	492	914 (1)	148	523	86	114	82	2,359 (1)	2,182 (1)	177	
前年同期	470	792	138	514 (1)	100	94	74	2,182 (1)			
増減	22	122 (1)	10	9 (-1)	-14	20	8	177			

## 災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
転倒災害	114	301	42	82	21	23	26	609	498	111
食料品加工用機械災害	12	15	2	11		1	1	42	31	11
建設機械災害	2	2	3	6	2	2	3	20	32	-12
クレーン・玉掛災害	9	15		16			1	41	47	-6
外国人の災害	10	47	4	55	1	2	3	122	98	24
公共工事の災害	9	11	4	10	4	4	2	44	31	13
交通労働災害	41	54	4	30	5	4	1	139	124	15
荷主先災害	8	75	6	51	6	7		153	155	-2

注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。

注2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

注3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。

注4 各項目の( )内は、脳・心臓疾患、精神疾患の死亡者数で内数です。

# 平成28年 死亡災害発生状況

平成29年3月末確定

群馬労働局

業種 \ 年	26年	27年	28年	対26年比	対27年比
製造業	5 ( )	3 ( )	3 ( )	-2 ( )	( )
鉱業	( )	( )	( )	( )	( )
建設業	12 ( )	3 ( )	3 ( )	-9 ( )	( )
運輸交通業	3 ( )	( )	2 ( )	-1 ( )	2 ( )
貨物取扱業	( )	( )	( )	( )	( )
林業	( )	( )	1 ( )	1 ( )	1 ( )
その他	7 ( )	5 (1)	5 (1)	-2 (1)	( )
計	27 ( )	11 (1)	14 (1)	-13 (1)	3 ( )

※ ( ) の件数は、脳・心臓疾患，精神障害を内数で表す。

# 平成28年死亡災害事例（建設業以外）

平成29年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 労働者数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 9時頃 15人	40歳代 男 作業者	NC旋盤で機械器具の部品（直径6.3mm、長さ215mm）加工後、バリ取りのため、旋盤のカバーを開け回転中の加工物にサンドペーパーを押し当てていたところ、着衣の一部ごと巻き込まれ、頭部を強く打ち死亡した。	機械器具 製造業	はさまれ・ 巻き込ま れ	旋盤
2	1月 8時頃	50歳代 男 管理者	自宅から事業場への通勤途中に体調の異変により自ら救急車を呼び、病院に搬送され心臓の治療を受けたが、同日死亡した。	産業廃棄物 処理業	その他	起因物なし
3	2月 13時頃 49人	50歳代 男 整備係	13トントラック下部にもぐり、車両のグリスアップを行っていたところ、同僚運転手が被災者に気づかずトラックを発進させたためタイヤに轢かれ死亡した。	一般貨物 自動車運 送業	はさまれ・ 巻き込ま れ	トラック
4	5月 8時頃 24人	50歳代 男 運転者	スキー場内の車庫から同僚が車庫から社用車（ワゴン車）を移動させるため、バックさせていたところ、後部にいた被災者に激突し、転倒した被災者が轢かれ死亡した。	その他の 接客娯楽 業	はさまれ・ 巻き込ま れ	乗用車、 バス、バ イク
5	7月 16時頃 2人	80歳代 男 作業者	河川沿いの土手の立木伐採作業中、伐倒した木がつるにからまっていたため、かかり木になり、掛かれた木を切り倒した際、かかり木と共に倒れ、頭部に激突した。	その他の 林業	激突され	立木等
6	7月 17時頃 18人	50歳代 男 警備員	丁字路で車両の誘導をしていたところ、後方より走行してきた軽車両にはねられ転倒し、頭部を強打し、5日後に脳挫傷により死亡した。	警備業	交通事故 （道路）	乗用車
7	8月 13時頃 92人	40歳代 女 飼育員	1人で軽自動車に乗りパーク園内を巡視中、運転席窓から突然クマが入り込み腹部等をかまれ、収容先の病院で死亡した。	その他の 教育研究 業	その他	その他の 環境等
8	9月 4時頃 21人	30歳代 男 配達員	バイクで新聞配達中、右から交差点に進入してきた軽自動車と衝突し、意識不明の重体であったが、翌日に死亡した。	新聞販売 業	交通事故 （道路）	乗用車、 バス、バ イク
9	9月 18時頃 2人	60歳代 男 作業者	積載荷重1.5トンのトラックに1枚約200kgの鋼製扉7枚を積み込み、事業主が鋼製扉の倒壊防止の本締め用クランプを取り付けようと、仮止め用のL字型クランプを外した時に扉がバランスを崩して被災者のいる方に倒壊し頭部を負傷、収容先の病院で死亡した。	その他の 金属製品 製造業	崩壊・倒 壊	トラック
10	10月 15時頃 1人	20歳代 男 修理工	水汚泥分離リサイクル車のタンク下部の油漏れ箇所を修理中、油圧にて上げていたタンク部が突然降下し、タンクとトラック車体の間に挟まれ死亡した。	自動車修 理業	挟まれ・ 巻き込ま れ	その他の 装置、設 備
11	10月 9時頃 43人	30歳代 男 運転者	トラックで荷を運搬し、帰社のためトンネル内を走行中、前方を走行中の農業用トラクターに追突、反動で反対車線のトンネル側壁に激突して死亡した。	一般貨物 自動車運 送業	交通事故 （道路）	トラック

## 平成28年死亡災害事例（建設業）

平成29年3月末確定  
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 店社人数・現場人数	年齢 性別 職種	災害のあらまし	発注者	事故の 型別	起因物別
1	2月 16時頃 4人	50歳代 男 作業者	建屋解体工事現場で、建屋屋根上に上がり取り外した折板を屋上端部から地面に投げ下ろしていたところ、バランスを崩し高さ約3.1mの地面に墜落した。	民間	墜落・転落	建築物・構築物
2	5月 12時頃 3人	20歳代 男 電工	三相6600Vの受変電設備(キュービクル)の扉が開き、その近くで倒れている被災者が発見された。	地方公共団体	感電	電力設備
3	8月 14時頃 6人	60歳代 男 解体工	木造平屋建て倉庫の解体工事において、屋根上で屋根瓦の撤去作業中、野地板を踏み抜き約6m下のコンクリート床に墜落し、脳挫傷により死亡した。	民間	墜落・転落	屋根